

新リーフレット完成

4月からフリースクールの会費を変更したことに加え、以前のものを使いきたこともあり、このたび、フォロのリーフレットを新しく作り直しました。

フォロでは、話し合いに重きをおいています。3年前に大赤字になったときも、事業をゼロベースで見直すべく「ガラポン委員会」を開きました。フォロに関わりのある多くの人たちと話し合いを重ね、貴重なご意見をたくさんうかがいました。一堂に会し、いろんな人の話を聞き、自分も思うことを言って、その場の空気を共有することで、ある種一体感のようなものを感じることができます。

●わかりやすく伝えるには

しかし一方で、そこで理解しあえたような感覚になってしまい、話し合われた内容や以前から大事にしていることを、フォロをまったく知らない人にもわかりやすく伝える努力が欠けているように、私は感じていました。

そんな思いから、フォロのことを一言で、一目で伝えるにはどう表せばよいかを、おもに理事会のメンバーと検討し始めました。長年かけてきた「いるだけでいい」のキャッチフレーズも、時代の移り変わりとともに、私たちの意図とはちがうふうを受けとられるのではないかという懸念から、見直しも考えました。しかし、能力や成果が

重視されがちな昨今だからこそ、ただいることのできる大切さを訴えていかなければと、キャッチフレーズはそのままに、副題をつけることにしました。それが「信頼と安心の土壌を」です。

フォロのよさや訴えたいことは、わかりやすい言葉にするとこぼれてしまうところにあるものなので、どうしてもズレてしまうのですが、それでも近い表現やイメージを探して話し合いました。

また、雰囲気やイメージを視覚的に伝えるために、思いきってプロのデザイナーさんをお願いしました。ご縁で「codomoto ままちっち」という、大阪市の阿倍野区や東住吉区を中心に、子育てママを応援する活動をされている団体に依頼しました。要望を少しお伝えしただけで、イメージにぴったりの素敵なイラストを届けてくださり、そのうえ、お気持ち価格なのに、こちらが納得いくまで何度も描き直しをしてくださいました。

いままで何を大事にしてきたか、どんな人にとってほしいか、何を伝えたいか、どんな配置にするかなど、ひとつひとつ改めて考え、ままちっちさんにもお手伝いいただき、三つ折の小さな紙面にぎゅっと詰めこみました。

もし、みなさまのつながりで、置かせていただけたところありましたら、ぜひご連絡ください。コロナのこんな状況だからこそ、人といっしょに過ごす居場所の必要性を信じて、ひとりでも多くの方に届きますように！
(中嶋千賀)

フリースクールから

夏以降のフリースクール・フォロでは、コロナに配慮しながら、できるだけたくさんのお出かけをしました。まずは神戸どうぶつ王国へ。ウサギにさわったり、限定のスナネコを見たり、目の前に突然キツネザルが来て驚いたり。最後は「ボード・パフォーマンス・ショー」を見たりして、動物たちとの楽しい1日を過ごしました。10月上旬には『千早川マス釣り場』へ。台風が来る前日でしたが、天気も気候も最高の状態でマス釣りができました。とはいえ、最初はなかなか釣れず、「午後1時の放流までは釣れないかも」とあきらめムードが漂い始めたところにメンバーのひとりが「よっしゃ〜!!」と1匹釣り上げ、みんな一気に盛り上がりました。その後に放流があり、予想を超えた入れ食いフィーバーに突入! 「釣れた!」「糸からだ!」「虫エサ触れん!」などの声が飛び交い、スタッフは大忙し。気がつけば、あっという間に時間が来ており、急いで釣り上げたマスを調理してもらって食べました。「魚嫌い」と話してたメンバーも、自分が釣った魚を「めっちゃ、おいしい」とバクバクと食べてました。直近では、大泉緑地の冒険ランドへ。巨大すべり台の上から見下ろしたときには、メンバーもスタッフも「怖っ!!」。しかし勇気を出して滑り出すと、その後は何度すべってもおもしろく、現地での4時間を、ほぼ登りすべりの繰り返し再生のようだった、想定外の1日でした。外出以外の活動でも、ボードゲームやゲーム機、オンラインなどを組み合わせて、コロナで一変した日常を少しずつ取りもどし、楽しく過ごしています。最近「スマブラ」の対決が多く、私はメンバーに修行をつけてもらう日々です。高等部は、今年度は受験が控えていたり、進学したりしたメンバーが多く、ギターを弾きながら高校の楽しいようすを教えてくれるメンバーもいれば、受験勉強にいそしむメンバーもいて、昨年度とはまたちがった表情を見せてくれています。フォロでは、「みんな



マス釣り
千早川にて
(10月7日)

勉強しますよ」という時間は設けていませんが、勉強したい人がしやすい時間はつくっており、小・中学生も「今日は勉強もしようかな」という日はドリルをしたり、パソコンのタイピング練習をしたりしています。そして10月には、300円で食べ放題の「フォロのお昼ごはん」もついに復活しました! そんなこんな、コロナに負けずに日常を取り戻しつつあるフリースクール・フォロを、これからもよろしくお願いします! (秋月喬優)

OB・OGウィーク

3月1日(月)~5日(金)

今年はコロナでフォロまつりもできなかったもので、「OB・OGウィーク」をつくってみました。期間中は1人1回、10:30(金曜日は11:30)~17:00までのあいだ、いつでも来てOK。参加費は800円です。フリースクールの企画にも参加OKです。10月19日~23日に第1回を開催し、3人がなつかしい顔を見せてくれ、スタッフもうれしかったです。また、3月1日(月)~5日(金)に開催しますので、ふるってご参加ください~(みんなとていねいに会いたいのので、人数が集中しないように事前に連絡くださいね。1日5人前後が目安です)。(スタッフ一同)

なるにわより

ひさしく、なるにわの報告をニュースレターでしていませんでした。なるにわも、春は新型コロナウイルスの影響で2カ月ほどサロンを開けず、オンラインなどで、しのいでいました。5月末から時間を短くして再開、10月になって、ようやく夕飯も再開、だんだん参加者の数ももどってきて、日常を取りもどしつつあります。

この間はいろいろたいへんでしたが、逆に、こうしたつながりの「しづとさ」も感じる事ができました。なるにわは、ゆるやかな関係の場なので、所属するのではなく、なんとなくつながっていて、来る人も、そのときどきによって変化します。数カ月ぶりとか、数年ぶりに来る人も、ちよくちよくいて、でも、なんとなくつながっている。なので、コロナでサロンが開けなくなっても、人がいつときグッと減ってしまっても、粘菌みたいに、またももももと集まり、場ができていく。そのかたちは不定形で、適度な温度や日陰や湿度があれば増殖していきます。

「参加者を粘菌呼ばわりするのか！」と、お叱りの声も飛んできそうですが、私は粘菌をリスペク

トしてますので、むしろ賛辞です。粘菌は動物的に動きまわる時期と、静止してキノコのようになる時期とがあって、キノコのようになったあとは、胞子を飛ばし、生息地を拡散させていきます。そして、また、それぞれがももももと動いていく。なるにわも始めてから14年ほど経って、長年、参加してくれていた人でも、だんだん足の遠のいた人もいますが、きっと、それぞれが胞子として飛んでいって、それぞれのところで、また、ももももと動いているのだと思います。私は、「居場所」というのは、そういうものではないかなと思っていたりもします。

コロナ禍はいつやむとも知れず、まだまだ波はつづくのだらうと思います。不況の波も、これからますます大きくなり、厳しい状況になることと思います。正直なところ、フォロも、今後どうなるかはわかりません。でも、「粘菌」みたいなつながりは、何がどうなっても残るのではないかと思います。そして、そういうつながりを信じていたら、何がどうなっても、あまり怖くないように思っています。とはいえ、早くコロナには収束してもらって、安心な日常を過ごせるようになりますように。(山下耕平)

親のつながり

親の会(ほっとサロン)は、4~5月は新型コロナウイルスの影響で開催できませんでしたが、6月から再開し、9月からZoomで参加の方ともいっしょにお話しています。参加者からは「コロナのことで子どもが不安になっている」「家族みんな家において、出かけることができなかつたときは、ストレスが大きかった」「ヨガや散歩に行つて気分転換している」などの話がでました。会つてしゃべるとみなさん自然と笑顔になるのが、ほっとサロンのいいところです。

私自身、人と会えなかつた期間を経験し、誰かと同じ場所にいるだけで、たくさんのかたを伝え合うことができ、そうすることで気持ちが落ち着

くのだなあと気づくことができました。まだまだ危機感や不安はありますし、直接会うことのリスクを考えないわけにはいかない状況ですが、電話やZoomなどを使えば、おたがいに時間を共有し、双方向のやりとりができることで、自分の状況が少し客観的に見えたり、しんどかつた気持ちが少し軽くなることもあるかもしれません。親の相談窓口にお電話いただく方も少し増えました。

また、去年「生きづらさとともに」と題した講演会をしてくださった、望来のりこさんによる相談会や講座を企画中です。決まり次第メルマガにてお知らせしますので、メルマガ登録をされていなくて予定をお知りになりたい方は、info@foro.jpに、お名前と「メルマガ希望」と書いてメールしてください。お待ちしております。(里中和子)

本のご紹介

『変容するフリースクール実践の意味—設立者のナラティブ分析から』 橋本あかね／明石書店

これまでフォロにボランティアやスタッフとして関わってきて、いまは理事をしている北田（橋本）あかねです。その間、研究者としてフリースクールについて研究してきましたが、このたび博士論文をもとにした本を上梓しました。これは「フリースクールとは何なのか」「なぜフリースクールを立ち上げ、運営し続けるのか」という問いに、設立者の視点から応えようとした本です。具体的には、6名の設立者の人生に関する語り（ライフストーリー）をもとに、フリースクールを立ち上げ、運営することは設立者にとってどのような意味があるのか、またその意味はどのように変化していくのかを明らかにしました。

この本の特徴は2つあります。1つは、フリースクールに通う子どもや若者ではなく、大人である「設立者」に焦点を当てていることです。「設立者」に焦点を当てたのは、これまで研究されたことがないという理由もありますが、それ以上に私自身が「設立者」という存在に強く惹かれたからです。「この人たちの人生について聞いてみたい」「深掘りしたらおもしろそう」という純粋な興味関心から、6年かけて設立者の語りを分析したのがこの本です。

もう1つは、フリースクールで何が行われているかではなく、フリースクールに関わる人にとってどのような「経験」として位置づけられているのかに着目していることです。その意図は、フリースクールをわかりやすい言葉で説明しようとするのではなく、そこに関わる人の数だけ異なる意味が存在するものとして提示することにあります。この本が取り上げているのは、無数にあるフリースクールの意味の一部にすぎませんが、読んでくださる方にとっての意味を引き出すきっかけとなればうれしいです。（北田あかね）

◎ボランティアさん募集してます！

ボランティアさんの手が足りていません。20歳以上で、フォロの趣旨に賛同いただける方、募集しています。くわしくは電話かメールにてご連絡ください。

◎ください！

- ・郵便書簡、切手、長3封筒、色画用紙、A4カラー用紙、のり・ボンド類、両面テープ、輪ゴム、単3・単4電池 etc...
- ・手提げ金庫、掃除機、ホワイトボード用イレイザー、ホワイトボード再生コート
- ・消毒用アルコール（手指用、キッチン用）手洗い洗剤、食器洗い用洗剤、トイレ洗剤、トイレ掃除シート、トイレトイレットペーパー、使い捨て手袋
- ・ティッシュ、ゴミ袋(45L)、クッキングシート、紙皿・紙コップ、食品用ラップ、スリッパ、防音マット etc...
- ・カレンダー、個包装のお菓子
- ・マンガ『とびだせどうぶつの森 はりきり村長イッペー!』『ハンター×ハンター』『風都探偵』『リーダー伝タケシ』『スマブラ (Switch版)、プレステ5 (言うだけ言うてみます)

いつも、この欄に「ください!」とお願いすると、いろいろな方が物資を届けてくださり、ほんとうに助かっています。お金だけではなく、現物でも支えていただいていること、ありがたいかぎりです。感謝申し上げます。

*

このたび、ホームページにAmazonの「ほしい物リスト」を公開してみました。品番が決まっているものなどを載せています。よろしければ、こちらもぜひ、よろしく願います。



Foro News Letter 第54号

発行日 2020年11月18日
 発行者 特定非営利活動法人フォロ
 〒540-0036 大阪市中央区船越町1-5-1
 Tel 06-6946-1507 Fax 06-6946-1577
 E-mail: info@foro.jp
 URL <http://foro.jp>

郵便振替口座 00900-1-25564
 加入者名 特定非営利活動法人フォロ